

2013年4月20日（土）

百蔵山・（1003m）

レポート by 熊本（写真：高橋雄、熊本）

今回は駅からハイクで、中央線猿橋駅から百蔵山（1003m）に登り駅まで帰るコースです。

参加者は川島さん、布目さん、小山さん、丸山さん、能勢さん、堀さん、高橋雄さん、クマモトの8名。



夕方から雨の天気予報のなか、薄陽が射し午前中は問題ないだろう。

猿橋駅から、右に扇山、手前左に百蔵山。



8:42 猿橋着の電車で全員が揃った。



8:55 駅を出発し国道 20 号（甲州街道）を超えたところに熊野大社があり、登山の安全祈願をする。



最初の信号を左に折れて道なりに進むと、桂川（相模川の上流）を越える。



桂川に日本3大奇矯の猿橋が架かっているが、帰りに見ることにして、百蔵山方向に進む



百蔵橋から見る桂川の渓谷は澄んだ水の新緑の若葉が綺麗だ。



中央自動車道を越えて、矢印に沿って百蔵山に向かい舗装された林道を暫く歩く。
沿道には春の花が次々と現れ楽しい。



ヤマブキ



フジ



シャクナゲ





20分ほどで、大月市市営総合グラウンドが右手に現れ、公園一帯のヤエザクラは今は満開。



振り返ると富士山の頭が春霞に浮かんでいた。



更に10分ほど歩くと、百蔵山への分岐に出会い左側のルートを取る。

更に15分程で、ヤット山道に入る。春の高山植物が満載である。



ビンカミノール



山ツツジ



イカリソウ



黄スイセン



ヒメオドリコソウ



キケマン



ヒトリシズカ



マムシグサ



登山道はイカリソウの群生



山道に入ったところで、本日初めての集合写真を撮る。

9:55 歩き始めて丁度1時間経過。



ヤマブキを見ながら山頂を目指す。



10:10 杉・檜林の樹林帯を登る。
杉も檜も花粉は付いていなかった。



11:00 ウスムラサキ色が鮮やかなミツバツツジが一本だけ咲いていた。



ミツバツツジ



周囲は赤松林に変わった。



11:10 百蔵山山頂（1003m）に到着、桜がまだ咲いていた。予定より 40 分早く着いた。



百蔵山（1003m）

山頂から富士山が見えるはずだったが、一面に雲が覆い、残念。



山頂で車座になって早い昼食。
 気温がドンドン下がり寒くなってきた。5，6度くらい。
 これで降ってきたら霰になりそうだ。



山頂で記念写真。
 11:35



山頂からの下りは急斜面の連続で張られているロープを頼りに慎重に下りる。
 もし雨に降られ急斜面の登山道が濡れたら、滑ってどうしようもなかっただろう。

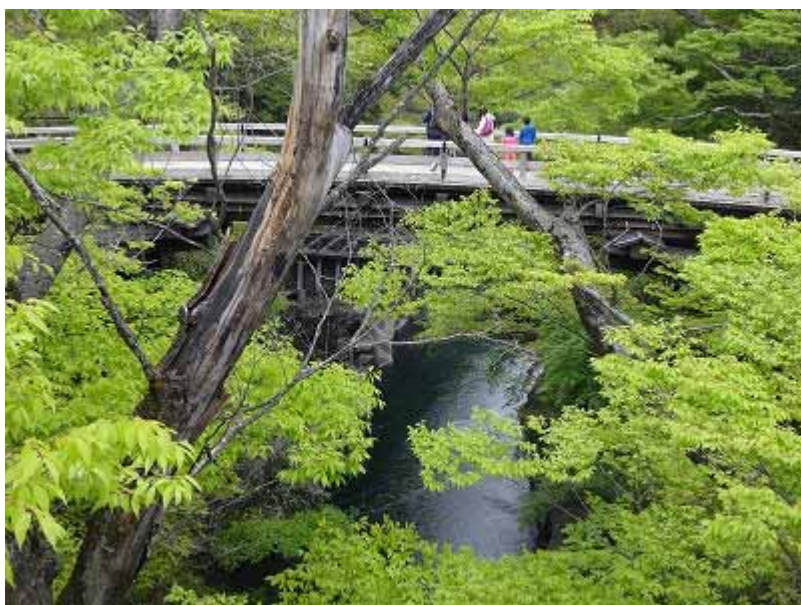


急な下りを無事下り、車道に出て、憩いの森キャンプ場で一息入れる。

12:35



今にも雨が落ちてきそうな雲行きで寒くなり、猿橋に向かう。



11:35 猿橋に到着。

江戸時代に「日本三奇矯」の一つとして知られ、甲州街道に架かる重要な橋であった。



周辺の景観も含め国の名勝に指定されている。長さ 32m。



橋の上から約 30m 下の溪谷美を堪能。



桂川の溶岩を侵食した溪谷美



高さが 30m あるため、途中で支柱を設けられないため、両側から桁をせり出して重ねた独特の構造は土木工学的にも貴重で国の名勝に指定されている。ここから 20 分ほどで猿橋駅に戻った。(14:00)

14:15 の上り電車を待つ間に雨が降り出してきた。

我々が駅に入るのを待っていたようである。

上り高尾行きに乗り藤野下車。

無料送迎バスで日帰り温泉「東尾垂の湯」へ行く。(15:10 着)



大広間は空いており 17:35 の送迎バスまでユックリ入浴休憩した。

雨を覚悟の登山であったが、幸いにも歩行中は雨に合わず済み、多くの春の花々に出会い、日本三奇矯の猿橋の見学も出来て満足のハイキングでした。